

神小だより 第11号

令和6年1月17日

記念撮影用人工字



2024年を迎え、3学期が始まりました。

保護者・地域の皆様、明けましておめでとうございます。本年も教職員一同、神小教育の発展・充実に向けて歩いていく所存です。どうか本年もよろしくお願いたします。

さて、9日(火)から3学期が始まりました。児童も新しい年を迎えて晴れやかな表情で始業式に臨んでいました。終業式に続き、極寒の体育館ではありましたが、どんな状況でも厳粛な雰囲気でき典ができることも、神小パワーの一つだといつも感心しています。

児童には、年度当初に約束した「自分の良いところを見つける」「友達の良いところを見つける」という目標の達成ができるようがんばってほしいと話しました。能登半島地震にも触れ、「まわりの人の気持ちがわかる人になること」や「自分自身でできることを増やすこと」について、あらためて考えてほしいと呼びかけました。



火災を想定した避難訓練を実施しました。

1月12日(金)に、1階湯沸かし室から火災が発生したという想定で避難訓練を実施しました。午前10時35分に訓練が開始され、火災発生元の確認をしてから初期消火にあたり、火災報知器を鳴らすとともに消防署への119番通報、児童には放送による避難指示、運動場中央部への避難という流れで、実際に火災が発生した場合の手順に従って行いました。神山消防署からも署長様他3名の署員の方が来校され、訓練の様子を観察して全体指導で講評をいただいたり、職員への消火訓練の指導もお願いしたりしました。子どもたちは、先生の指示に従い、慌てることなく落ち着いて「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の合い言葉を守って、避難を完了することができました。

今年は年明けから、能登半島地震や火災発生ニュースがあり、例年以上に火災の訓練が児童にとっても身近に感じられたのではないのでしょうか。避難訓練は、1年のうち、9月の地震と1月の火災の2回しかありませんが、自分事として訓練に参加する児童が増えれば増えるほど効果は上がると考えています。



避難訓練に合わせ炊き出し訓練を実施しました。

今年度初めての試みで、避難訓練に合わせ炊き出し訓練を実施しました。ハイゼックス炊飯袋を使用したお米を炊く訓練を体験しました。スマイル班ごとに分かれ、高学年が下学年をサポートして手際よく袋に米と水を詰めていきました。大きな鍋の中の様子も一人一人が確認しました。

神山町社会福祉協議会、民生委員、神山町赤十字奉仕団のみなさんの協力でカレーも作っていただきました。さらに、5、6年生は、野菜の皮むきも行うなど児童にできる内容もたくさん盛り込んでいただきました。「一人一人のできることを増やす」ことや「やってもらう児童からできることはやる児童へ」という学校のねらいを十分尊重していただきました。実施計画から道具の準備まで本当にお世話になりました。



神山町赤十字奉仕団の方々

